

膜シンポジウム 2020 “ブレイクスルー”

膜シンポジウム 2020 を下記の要領で開催します。本年度の主題は“ブレイクスルー”とし、人工膜・生体膜・境界領域における様々な分野の研究者が垣根を越えて深く交流することで、各々の視点から新たな“ブレイクスルー”を見出し、“膜学”のさらなる発展に寄与することを目的とします。本会の理念である人工膜・生体膜・境界領域の融合を目指し、膜に関連する幅広いカテゴリーに属する研究者・技術者が一堂に会して、活発に意見を交換し合い、“膜学”を新たなステージへと押し上げる突破口についての議論を行う場にしたいと考えています。分野を問わず、“膜”の科学と技術に関する基礎から応用まで広範囲にわたる研究成果をご発表頂きたく存じます。発表内容は、十分に討論できる内容であれば、未発表・既発表を問いません。また学生による優秀なポスター発表に対して学生賞を設けますので、学生の方々も奮ってご応募下さい。

主催：日本膜学会

共催：化学工学会

協賛：酵素工学会・高分子学会・色材協会・触媒学会・先端膜工学研究推進機構・ゼオライト学会・電気化学会・日本イオン交換学会・日本海水学会・日本化学会・日本化学連合・日本キチン・キトサン学会・日本吸着学会・日本材料科学会・日本生物物理学会・日本セラミックス協会・日本 DDS 学会・日本表面真空学会・日本水環境学会・日本薬学会・日本薬剤学会・日本薬物動態学会・日本油化学会

開催日：2020 年 11 月 12 日（木）・13 日（木）

会場：オンライン開催（神戸大学での現地開催は行いません。ご注意ください。）
コントロールセンターを早稲田大学 121 号館会議室に設置します。

現時点でのオンライン開催情報：

1) 発表方式について

- ・口頭発表・ポスター発表はいずれもオンラインで開催します。
- ・システムは Zoom を利用します。参加登録者のみが接続できるようにします。
- ・口頭セッションは座長・司会の指示により進行します。発言中以外は必ずミュートにしてください。
- ・発表は、演者 PC の画面共有により行います。
- ・ポスターセッションの発表者は割り当てられた発表時間(15 分)の間、一つのオンライン会議室を占有して、発表と質疑応答をしていただきます（それぞれ 7 分間）。聴講者は自由に入退室可能です。

2) 注意点について

- ・参加者は事前に Zoom アプリケーションを公式ホームページ (<https://zoom.us/download>) からダウンロードし、インストールして下さい。
- ・Zoom の環境準備（カメラ、マイク；PC 付属のものでも可；ヘッドセットマイクが望ましい）が必要となります。
- ・後日、大会ホームページに簡易マニュアルを用意するほか、事前にテスト接続日を設ける予定です。
- ・実行委員会が許諾した場合を除き録画、録音、スナップショットによる撮影は禁止します。
- ・プレゼン資料の著作権は発表者に帰属します。プレゼンテーションに用いるスライド等に第三者の著作物（図、写真や表など）がある場合には、著作権の取扱いに注意してください。
- ・悪意を持った参加者による発表内容の流出に対して実行委員会は責任を負えませんので、公表内容については演者が責任を持つことをご了承下さい。
- ・オンライン上での発表の詳細については、適宜、ホームページ上で公表していきますので、最新情報のご確認をお願いします。

膜シンポジウム 2020 のウェブサイト：<http://www.maku-jp.org/symposium/>

発表形式：口頭発表およびポスター発表

(学生賞審査対象はポスター発表のみです。学生本人が実施した研究内容に限ります。また、日本膜学会膜シンポジウム 2019 の学生賞受賞者は審査対象外となります。)

発表時間：

- ・口頭発表：発表 15 分，討論 5 分
- ・ポスター発表：発表 7 分、質疑 7 分
- ・ショートプレゼンテーション：実施しません。
- ・発表用ポスターの形式：「A0 サイズ 1 枚」の PDF ファイルまたは画面サイズのスライド数枚（パワーポイントまたは PDF ファイル）をご準備ください。（オンライン上での発表の詳細については、適宜、ホームページ上で公表していきますので、最新情報のご確認をお願いします）。

研究発表申込：終了しました。

発表演題の登録：終了しました。

発表者は、10 月 12 日（月）までに参加費の支払を完了してください。支払いが完了しない場合は、発表を取り消す場合があります。

講演要旨提出締切：終了しました。

発表者以外の参加登録：シンポジウム参加者は、事前参加登録が必要です。発表者以外の参加登録は、日本膜学会 HP の膜シンポジウム 2020 のサイトにて受付致します。膜シンポジウム 2020 はオンライン開催となりましたので、当日受付はございません。下記受付期間以降の受付はございませんのでご注意ください。

第 1 次事前参加登録および支払期間：2020 年 9 月 14 日（月）～10 月 12 日（月）

⇒終了しました。

第 2 次事前参加登録および支払期間：2020 年 10 月 13 日（火）～11 月 5 日（木）

入金支払締切日の 2020 年 11 月 5 日（木）（第 2 次事前参加登録）までに完了しなかった場合、事前参加登録は無効となります。

参加登録料は、以下の通りです。

第 2 次事前参加登録料

主催・協賛学会員：9,000 円，非会員：26,000 円，学生：6,000 円，

法人（5 名まで参加可、法人会員の企業様に限り。）30,000 円

事前参加登録者には 11 月上旬にシンポジウムに参加するための専用の ID / パスワードなどの情報をご登録されたメールアドレスにお送りします。また、参加登録証、領収書をご登録されたメールアドレスにお送りします。2020 年 11 月 9 日（月）までに届かなかった場合は事務局までご連絡ください。

なお、学生参加登録者は、2020 年度学生会員として登録されます。

振込先：郵便振替：00140-9-705802 ・加入者名：日本膜学会シンポジウム

ゆうちょ銀行：店番 019 ・店名〇一九 ・当座預金・口座番号 0705802 ・加入者名：日本膜学会シンポジウム

みずほ銀行：本郷支店・普通預金・口座番号 0961801 ・口座名：日本膜学会

なお、ゆうちょ銀行・みずほ銀行に振込の場合には、参加者名、住所、E-mail アドレスをメールにて事務局までご連絡下さい。

懇親会：開催しません。

要旨集について：講演要旨集は膜シンポジウム 2020 のウェブサイトにて公開します。要旨集公開予定日は 2020 年 11 月 4 日です。事前参加登録費の入金が確認された方には、閲覧のための ID、パスワードをご連絡します。

要旨集冊子体は発行しません。

膜シンポジウム 2020 終了後、要旨集 CD 版を 7,000 円（税別）で販売します。

実行委員会

実行委員長：寺田智祐（滋賀医科大学）

実行副委員長：田中孝明（新潟大学）

実行委員：赤松憲樹（工学院大学）、池田義人（神戸薬科大学）、大橋秀伯（東京農工大学）、兼橋真二（東京農工大学）、中川敬三（神戸大学）、中瀬生彦（大阪府立大学）、野村幹弘（芝浦工業大学）、松方正彦（早稲田大学）、森田真也（滋賀医科大学）、由利龍嗣（滋賀医科大学）

問合せ先：〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702 日本膜学会 事務局

E-mail：membrane@mua.biglobe.ne.jp

実行委員長連絡先：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部

TEL：077-548-2680 E-mail：teradat@belle.shiga-med.ac.jp

膜シンポジウム 2020 実行委員長 寺田智祐

実行副委員長 田中孝明